

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

Vol.100

仙台市泉区紫山1-2-1
幼稚園: (022) 777-6777
小学校: (022) 777-3777
中学校: (022) 777-5777

令和2年
6月30日発行

<http://www.sendaishirayuri.net/>

Faccio io!
～大胆に手を差し伸べ、大胆に語ろう～



仙台白百合学園

2021年度 園児・児童・生徒募集のご案内

詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚園

Kinder-garten

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-6777
E-mail:office3@sses.jp
<http://kd.sendaishirayuri.net/>
ロンちゃんBlogも
ご覧ください。



今後の行事日程

- 園庭開放 7月 4日(土) 9:30～11:30
9月19日(土) 9:30～11:30
10月10日(土) 9:30～11:30

- 運動会 9月26日(土) 9:30～11:30

未就園児の
かけっこ参加が
あります。



願書配布

10月 1日(木)～
10月30日(金)
※郵送も可。

入園説明会

10月 3日(土)
…… 9:30～11:00

保育見学会

10月15日(木) …… 9:30～11:00

入園手続き日

11月 2日(月)



小学校

Elementary school

お問合せ・連絡先
〒981-3205 仙台市泉区紫山1-2-1
TEL:777-3777
FAX:777-3778
<http://el.sendaishirayuri.net/>

申し込み方法

詳しくは本校ウェブページ
をご覧ください。上記連絡先までお問い合わせ下さい。



今後の行事日程

毎週土・日曜日開催
学校見学受付中!!

- 小学校HPの「土日見学会」から
お申し込みください。



願書交付

6月 1日(月) ※郵送も可。

願書受付

併設幼稚園 9月14日(月)～9月18日(金)
一般幼稚園 9月23日(水)～10月30日(金)
※後期受付 12月11日(金)まで
※9時～16時(土曜日は12時まで)

考査期日

前期 10月31日(土) 後期 12月12日(土)



中学・ 高等学校

Junior & Senior High School

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-5777
http://www.sendaishirayuri.net
学園の日常生活をつづる「紫山日記」もご覧ください。

*個別の学校見学・進学相談会は以下の
日程でおこなっています。お電話または
ホームページ経由のメールでご予約ください。

- 8月22日(土) ●9月19日(土)
- 12月5日(土)

学園ホームページをとおして、学校の様子や試験に関する情報をお届けします。ぜひご覧ください。



小学生の皆さんが参加できる 中学校の行事日程

- 中学校 秋のオープンスクール { 10月 3日(土)
10月24日(土)
- 中高授業公開 10月14日(水)
- 入試ポイント講習会 11月21日(土)

学園においていただく行事では送迎バスを運行します。

中学校入試日程

…………… 2021年 1月7日(木)
*2次募集の実施を予定しています。

中学生の皆さんが参加できる 高等学校の行事日程

- 高校 秋のオープンスクール { 10月10日(土)
11月 7日(土)
- 中高授業公開 10月14日(水)
- 英語リスニング講習会 11月 7日(土)
- LE(英語・留学)コース留学報告会 12月 5日(土)

高等学校入試日程

推薦入試 …………… 2021年1月13日(水)
A日程 2021年2月2日(火) } 専願・一般(全コース)
B日程 2021年2月4日(木)

エンカレッジコース 通信制課程

Encourage Course

お問合せ・連絡先
TEL:022-777-6625
白百合エンカレッジ 検索



今後の行事日程

- オープンスクール 7月11日(土) ※オンラインで行います。
- 学校説明会 ※いずれも午後より 場所:本校
8月22日(土)・11月14日(土)・2021年1月23日(土)

- 教員対象学校説明会 10月 9日(金)

*転入学 編入学は随時受け付けます。
*個別の学校見学・進学相談は随時行っています!

出願期間

第I期 2020年12月3日(木)～2021年1月13日(水)
第II期 2021年 2月3日(水)～2021年3月16日(火)

入学考査

第I期 2021年1月15日(金)
第II期 2021年3月17日(水)



学校長よりご挨拶

結集された力を信じて

中学高等学校校長 藤田 正紀



学園報第百号の発行おめでとうございます。記念すべき号に寄稿できることに感謝しつつ、少しプレッシャーを感じています。年三回発行される学園報ですが、この時期の号は学園記念日に合わせて六月三十日発行です。例年は、新年度や新生活がスタートして間もない四月～五月の子どもたちや学校の活動を紹介する記事が多く、書き手の胸の内にある希望と期待が想像できる紙面になっています。

しかしながら、今年度の四月～五月の学校の様子は全く異なっていました。言ってみれば、新型コロナウイルス感染症の影響です。断続的だとしても、およそ三か月間にわたる休校が続くことを誰が予想できたでしょうか。最初は、他国で起きているどこか現実味の薄い話だったものが、日増しに深刻化して世界中を巻き込み、日本でもその影響は色濃く残っています。学校としても、生徒が登校するという

するために結集された力は素晴らしいものだと感じました。何が正解なのかわからない中で、児童生徒が「学び」ために今できることは何か。すべての教師たちがこの一点を達成するためにアイディアを出し、研修に努め、経験を共有し、準備をし、実践したという事実には、言葉では表現しきれない価値があります。この結集された力がある限り、再び難局を迎えたとしても乗り切れるのだという思いを強くしています。次の聖書の言葉を心にため、未来に向けて歩んでいきましょう。

「今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りない」と私は考えます。
(ローマ人への手紙 八章十八節)

今年度より校長となりました

小学校校長 早坂 博之



小学校の校長に就任して二か月が過ぎようとしています。今度新型コロナウイルスが心配される中、皆様いかがお過ごしでしょうか。マスクの息苦しさ、閉塞感を感じながら日々過ごしていることと思います。さて、今週約三か月ぶりに子どもたち

子どもたちに寄りそいながら

幼稚園園長 田川 悦子



この春、新型コロナウイルス感染拡大の日々刻々と変わる状況が報じられました。幼稚園に関わる皆様の健康と安全を守るため、三月二日から臨時休園が続く日々を過ごしてまいりました。進級園児や新入園児のお子様ひとり一人に心を寄せ、新型コロナウイルスの感染が一日も早く終息となるように、ひたすら祈る日々を過ごしております。入園を心待ちにしているお子様のために入園式だけでもなんとか行いたいとあらゆる対策を練り、四月十一日土曜日に入園式を行いました。三密を避けて広々としたロザリオのマリア聖堂前の広場を会場として、内容を短縮し、出席者は新入園児と保護者のみとさせ



いかなければならないと考えています。これまで同様、本校の教育活動にご理解いただき、ご協力の程宜しくお願い致します。

学校長よりご挨拶



五月の中旬になって、可能な範囲内での保育の再開が考えられる状況になったと判断し、五月二十七日から年齢別に保育を開始しております。登園してくる子どもたちも何かと不安の入り混じった様子が見受けられますが、コロナウィルスの一日も早い終息を祈り続けながら教職員一同子どもたちを寄り添いながら努めて参ります。

それにしても、感染予防対策については、綿密な園児の健康チェック、園内の消毒、換気など全職員が心を砕いて対応しておりますが、お預かりする園児たちの姿を拝見して本当に感動する姿に出会います。それは、この状況に自分たちで順応している姿です。普段はお友達同士で大きな声で歌ったり、手を取り合って喜び合ったりする子どもたちですが、今はどうしようもない状態をけなげにも気を付けて行動しています。一日の中で、天気の良い日には広い園庭で思いっきり体を動かして、走り回ったりしながらコントロールしているようです。

7年目の通信制課程エンカレッジコース 教頭 阿部 和彦

通信制課程〔エンカレッジコース〕は、令和2年度に7年目を迎えました。3月には29人が卒業し、これまでの卒業生は計147人を数えます。今年度は24名の新入生や転入生を迎え、現在は77名の生徒が在籍しています。

新しい学校生活に期待して入学してきた新入生でしたが、4月11日の入学式の後には新型コロナウイルス感染拡大の影響で登校できない日が続きました。ようやく6月4日から通常のスクーリングをスタートすることができ、登校した生徒たちは、学園生活を再開できる喜びをかみしめていました。

登校ができなかった期間、生徒たちの学習機会を減らさないようにと、オンラインを使っての代替スクーリングを配信してきました。計70時間近くを配信しましたが、との科目も



オンラインの配信現場

100%近い生徒が受講し、アンケートの結果を見ても内容に対する満足度は高かったようです。オンラインによるホームルームや保護者会、進学ガイダンスも行い、家庭と学校と距離はあっても、心ではつながっていること実感することができました。

また、この期間、登校できない生徒たちを励ますために、スタッフ1人ひとりから動画による「応援メッセージ」を配信しました。ピ

アノ演奏、歌など、それぞれの特技を披露した後、生徒へ応援の言葉を贈りました。「応援メッセージ」の最後の動画は、スタッフ全員で演奏する「アフリカンリズム」。生徒に楽しんでもらおうと、それぞれが世界の民族楽器(打楽器)を持ちアフリカのリズムを奏しました。



ECスタッフからの応援メッセージ動画「アフリカンリズム」

困難な時期はまだしばらく続きそうですが、それを乗り越える努力をすれば、新しく得られるものは必ずあります。

カトリック東京教区司祭の晴佐久昌英神父様は、コロナ感染拡大と人間との関りについて次のように述べています。「私たちは、助け合うために生きている。もちろん病気は辛いし、災害も苦しい。ウイルスとの共存も、想像以上に大変。でもキリスト教は、困難な時にこそ、「さあ、今こそ助け合おうぞ」と身を起し頭を上げる。「助け合う」という人類が持つ最高の力で、この困難を乗り越えていきましょう。」〔晴佐久神父の説教集サイト「福音の村」より〕(2/16「カトリック浅草教会」での説教)

アヴニール(未来)募金のお知らせ

300年以上にわたり受け継がれてきた白百合学園の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会の「奉仕の心」を繋いできた仙台白百合学園は、2018年に創立125周年を迎えました。繋いできた建学の精神を身に着けることで、各時代のニーズに応えながら、社会に貢献できる人材を明治、大正、昭和そして平成と輩出して参りました。

平成10年4月には緑深い泉区紫山に移転し、明るい広々とした校舎で生徒・児童・園児たちは、思う存分日々勉学、奉仕活動などを通して自己研鑽に励んでおります。部活動では、文芸部、かるた部、放送部等が全国大会出場を果たし、他の部活動も生徒自身が、高い目標をもって活動しております。平成27年度には文部科学省より(全国123高校のひとつとして)名誉あるスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、修道女の方々がそうであったように、世界で通用できるグローバル人材の養成に励むべく日々努力している次第です。一方、少子化が進み、思うように定員確保が難しい状況も近年続いております。

そこで今後、奉仕の精神を国際社会で発揮できる人材を育成すべく、教育・研究のさらなる高度化とそれを推進するための施設・設備をより充実させるため、在学生、卒業生、教職員及び一般の方々へ幅広く寄付金を募ることいたしました。是非、趣旨を御理解賜りましてご協力の程宜しくお願い致します。



●生徒・児童・園児支援資金
●教育環境整備資金
●緑化関連事業資金
受付期間：令和2年4月1日～令和2年12月11日
受付方法：本学園ホームページの申込フォームにて受け付けております。
右記QRコードからもアクセスして頂けます。

使途
●生徒・児童・園児支援資金
●教育環境整備資金
●緑化関連事業資金

※詳細につきましては、本学園ホームページをご覧ください。なお、FAX・郵送でも受け付けておりますので、事務局募金担当にお問合せください。(TEL 022-777-5777)

仙台白百合学園幼稚園

2020年度
スクールバス
路線図



COVID-19による休園中の取り組み

新型コロナウイルスのパンデミックにより、新年度は大きな変化と決断が求められる日々となりました。入園式は、幼稚園始まって以来初の屋外で行われました。保護者の皆様のご協力のもと、天候にも恵まれ節目の日をむかえることができました。外出自粛要請の中、自宅で手先を使って楽しめるおしごとや手洗いのぬり絵、5月の聖歌などを各家庭に郵送しました。ユーチューブ動画も始めました。一緒に楽しんで体を動かしたくなる体操や、ルルドのマリア様へのお祈りの様子を配信しました。預かり保育は、子ども達の安全と健康を守ることを第一に、朝の検温、手洗いや消毒、換気の徹底など、常に配慮し、緊急事態宣言が出された後も継続しました。保育の再開に向けては、感染予防を最優先に考えて、細かい調整を行いながら様々な準備を進めていきました。1日の終わりには、職員が集まり、すべてを益に変えて下さる神様に信頼し、コロナの為に苦しむ全ての方々のために、最前線で働く医療従事者の方のために、幼稚園の再開を心待ちにしている園児達のために、お祈りを捧げしています。この見えない敵との闘いは長期戦と言われています。子どもたちの心と体の健康が守られることを願いながら、引き続き緊張感を持って対応していきたいと思えます。

****入園式****
(4月11日(土))

ステイホーム中に
郵送しました***

ようちえんのおともだち 2さいじクラスのおともだち

****ユーチューブ動画配信!****

たのしいたいそう!

担任の先生からのごあいさつ

昆虫太極拳

サンマのひらき

ばらぐみ

さくらぐみ

すみれぐみ

ゆりぐみ

マリアさまに
おいのり

*****感染予防対策*****

ここで
まってるね

****預かり保育****

しっかり
であらい

ならんで
おしよくじ



幼稚園

新入生の抱負 中学一年 大中 ひかり

私達の新中学校生活は、自宅待機という異例のスタートを切りました。新しい仲間達と顔を合わせられず、新入生合宿も無くなり残念でしたが、その一方で、社会で起こっている出来事に関心を持つ機会ができました。その時の気付きから、これからの中学校生活で目標としたいことが三つあります。一つは日本に限らず、世界中の国々の文化、価値観や今起こっている問題を知る事です。そのために必要な、基礎となる学習を頑張りたいです。二つ目は、小学校での奉仕活動で学んだ「他者に尽くす奉仕の心」を持ち、誰かの役に立てる人になるという想いを大切にしながら、今の自分に出来ることを見つけ、行動できる人になることです。三つ目は、仙台白百合学園は国際交流やボランティア活動に参加する機会を沢山与えてくれる学校なので、挑戦する気持ちを持ち、積極的に取り組むことです。

将来、自分が何になりたいかを見つけるためにこの旅が始まると思うと、とてもワクワクします。

第44回全国高等学校総合文化祭「文化部のインターハイ」

2020こうち総文 WEB SOUBUN 令和2(2020)年7月31日(金)~10月31日(土)



放送部



美術部

第72回 宮城県高等学校美術展で優秀賞に選ばれた作品です。

タイトル「絶滅種」 高校2年 樋口 真愛

文芸部

今年も総合文化祭に出場することができ、とても嬉しく思います。入部した時から目標としていた大会ですので、参加できる事に大きな喜びを感じ、また自身が引き締まる思いです。新型コロナウイルスの影響により、高知での開催は叶いませんでしたが、インターネット上での交流となりました。文芸部としては、このような機会を作って下さった方への感謝を忘れず、部誌制作の弾みとなるような大会にしたいと思います。

文芸部 部長 高校2年 三井 奏奈

中学・高校 5月のオンライン授業について

新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し臨時休校の延長が繰り返される中、本学園中学・高校でも5月13日(水)からオンライン授業に踏み出しました。その一番の目的は、生徒の学びを保障することにあります。本校では、2年前から生徒全員にタブレット端末(LEコースはノートPC)を持たせており、その環境を活用しない手はありませんでした。

また、休校期間が年度を跨いだため、新入生は学校そのものの、そして在校生も新クラスの同級生や担任との繋がりが作れていないことも気がかりでした。その繋がりを作り、安心感をもって日々生活するための精神的基盤をつくるため、オンラインで学校と生徒を繋げることにしたのです。

導入当初は、オンライン上の教室に入室することそのものに時間がかかっていた生徒たち。さすがデジタルネイティブと呼ばれる世代だけあって、数日で教室へのアクセス方法を習得し、授業開始前にはほとんどの生徒が入室を完了している状態に達しました。

それに対して、授業を担当する私たち教員は、今回初めてオンライン授業を実践する者がほとんどであり、ICT技術の得手不得手、科目によって授業の頻度が異なったこと等から、学校全体として一定レベルの授業を提供するまで約2週間かかったと言えます。私たちも慣れない授業形態に不安を覚え、試行錯誤の中で準備を進めまし

たが、生徒と繋がることでようやく安堵を覚え、また、「授業が楽しかった」「明日もみんなと繋がりたい」との生徒からの声に励まされ、より良い授業をつくるべく改善に努められました。

授業に先立って行われた学活・LHRではクラス開きもでき、クラスによっては担任との面談も実施されました。さらに、ベネッセのクラウドサービスClassiを通して担任や授業担当者と双方向の繋がりを持ったことで、学習面に留まらない様々なケアを、このひと月で行うことができました。

6月に入り、一旦オンライン授業は終わりを迎えました。今後再び臨時休校となった際、通常登校時の教育活動と比べても遜色のない教育活動が可能限り実施できるよう、学校全体で引き続き研究を進めて参ります。

教務部長 土谷志帆



四月三日、各家庭のネット環境を調査し、その後、携帯電話会社からタブレット二十台を無償貸与していただけることと決定。これらを貸し出すことで、ネットワークを利用した学習活動が可能になりました。環境の準備が何とか整ったところで、動画作成開始。不慣れた作業が続きましたが、小学校ICT支援部の先導で、次々と映像をアップすることができました。対象を学年ごとや、全校児童とカテゴリーを分けながら、番



組総数は五月末までに百四十番組を超えました。

四月十八日には双方向でのやり取りが可能な「Zoom」でのオンライン配信を開始。「映像が映らない」「音が出ない」「名前が変更されない」など次々とトラブルに見舞われましたが、保護者の皆様のご協力と、授業者以外の教員による電話対応等のフォローがあり、何とか継続的に実施することができました。画面越しではありますが、ひと月ぶりに担任や友達と顔を合わせた時の子供たちの笑顔は、本当に印象的で、私たち教員の心にも深く刻み込まれました。



この経験をもとに、一・二年生はオンラインでの保護者との面談を五月中に行うことができました。様々な場面で行う経験が生かされると確信しています。多くの可能性を模索しながら、ICT教育の更なる研鑽を積み進めたいと思います。

休校措置に伴う小学校でのオンライン活動について

三月二日から全国的に始まった休校措置。三月中は各家庭に課題を発送するのとや、学習サイトのあつせん等を行って

何より授業者が毎回グレードアップさせた授業を展開できるようにになったことは、「コロナ禍の前から本校が今後、大きな目標として掲げていたICT教育の充実に向けて、結果的に大きく前進できたと感じています。」

私たちは、環境が何とか整ったこともあり、このような形で学習・交流を休校中に進めることができました。「人とながること」のうれしさ、ありがたさ、喜びに気づけたことは、貴い体験になったと思っています。

小学校

Elementary School

入学式

四月十一日、小学校入学式を無事に執り行うことができました。実施を予定していた四月八日は、休校延長措置により、延期となりました。周囲の学校はさらに入学式を先延ばししましたが、その後の状況悪化を考慮し、十一日実施の運びとなった次第です。感染防止に備え、会場を小学校体育館からレジナパースホールへ変更、受付入場時間をずらし、マスクの着用、手指消毒の徹底等、やれることをすべて行いました。

新入生一人ひとりの元気な返事からは、これから始まる小学校生活への大いなる希望を感じることができました。

慰めの広場では、小学校より少し早い時間に併設幼稚園の入園式が行われており、学園全体がとても幸せな特別な日であったと思います。



Scene2 速報! 消費者庁HPに堂々掲載…食品ロス班の開発パンフレット&活動報告

「家庭の意識の改善で食品ロスは減らせるか」をテーマに探究している30LS04班は、これまでの探究活動における解決策の一つとして、食品ロス削減に向けたレシピを考案。調理室などで地道に実践を繰り返し、食材を無駄なく継続的に活用でき、しかも簡単で美味しい料理の試作に励みます。その後、味付けや彩り、栄養価にこだわった幾つかのレシピを、探究活動の報告会や食品ロス関連

の料理コンテストで発表し優秀賞や特別賞を受賞しました。それらのレシピの中から選りすぐりを、一冊のオリジナルパンフレット『それ、捨てるの?』としてまとめ2020年2月完成させます。3月31日、消費者庁HPの食品ロスに関するページに、30LS04班のこれまでの活動の様子と、開発したパンフレットの全文が掲載されました。

◆消費者庁HPより



Scene3 東北地区の「SGH甲子園」出場常連校は…仙台白百合学園高等学校です!

2017年3月から関西学院大学を会場に第1回大会が開催されて以来、予選を通過し、毎年本選に出場している本校はSGH甲子園の出場常連校です。予選は結構厳しいもので、300字の探究概要と1000字の探究内容を提出し、更に5分間の探究活動ダイジェスト版の動画を収録し、期日までにデータを送信する年もあるほど。本校では参加希望探究班が多いためプレゼンテーション審査を校内で行い、選抜された班が予選会に臨むというシステムです。毎年本選に出場していますが、大会関係者より、「明確な探究骨子と困っている方のためという視点形成が優れており、更に活動の幅が広く課題解決もオリジナリティがある。何よりこの活動を多くの方に伝えたいという意欲が発表に溢れている」と評価されています。

第1回大会 <日本語プレゼンテーション部門> 「災害時における外国人への支援体制」班 <ポスター発表部門> 「高齢社会を社会福祉の視点から考える」班

第2回大会 <ポスター発表部門> 「再生可能エネルギー～エコモデル計画から普及へ」班

第3回大会 <ポスター発表部門> 「アジア諸国との国際関係」班

第4回大会 <日本語プレゼンテーション部門> 「ロヒンギャ難民の教育支援について」班 <ポスター発表部門> 「家庭の意識の改善で食品ロスは減らせるか」班

本学園 探究学習顧問 藤井千春先生よりメッセージ 早稲田大学教育・総合科学学術院教授

若き「グローバル・サーバント・リーダー」の皆さん。皆さんが生きていく時代は、グローバル化がますます加速されます。そして、国際化された社会で発生している諸問題は、みなさんの足元に光と陰として強い濃淡で投げられています。「グローバル・サーバント・リーダー」の役割は、常に弱者の視点を忘れず、人を支え人を活かし、人をつなげていく、世界の希望の絆となることです。皆さんは本学園で、探究活動を地域と世界を舞台に展開し、自らの課題解決に取り組むことを通じて、語学力・幅広い知見・論理的な思考力を鍛えてください。そして、多くの人々との出会いを確かな絆へと発展させてください。皆さんは今、笑顔で困難に立ち向かう潔い「グローバル・サーバント・リーダー」として翔こうとしています。そのような皆さんに心からのエールを送ります。

*** 藤井千春先生 ご紹介 ***

同志社大学文学部卒。筑波大学大学院博士課程教育学研究科修了。博士(教育学)。ジョン・デューイの哲学と教育学を研究しつつ、全国各地の校内研究に参加し子どもの具体的な姿・事実に基づいて授業研究を行う。訪問先の校長との交流を基に、信頼される学校リーダーの資質について『校長の哲学』(学事出版)として出版。他、著書・翻訳書等多数。『平成21年版高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』及び同指導資料作成協力者、文部科学省スーパーグローバルハイスクール(SGH)企画評価会議委員、日本デューイ学会常任理事。



SGH探究活動報告

2015年度～2019年度 指定5年間

Scene1

仙台市防災功労表彰・第一号!

「仙台市防災功労表彰式」参加

2020年1月16日(木)仙台市役所を会場に『仙台市防災功労表彰式』があり、仙台白百合学園高等学校のSGH探究活動における5年間の取り組みの中で、継続されてきた防災・減災に関する活動が評価され、仙台防災功労表彰の第一号として表彰されました。表彰式には、『小学校低学年以下を対象とした防災・減災絵本』を開発した高校2年生の2名が参加。高橋副市長より感謝状が贈呈されました。



表彰に至った経緯

SGH一回生で「災害時における外国人への支援体制」をテーマに探究活動を実践した27LS02班が、東北大学災害科学国際研究所の今村所長にアドバイスを受けながら災害時の外国人用防災・減災パンフレット(英語版)を開発しました。新聞・ラジオ・TV等の各種メディアの取材を受けつつ、地域のコミュニティや公共施設、ホテル等に配布。仙台防災未来フォーラム・ぼうさい国体等に参加し、積極的に活動報告を行い、台湾で繋がった先輩たちの協力も得ながら中国版も完成させました。卒業後の2018年9月6日、北海道胆振東部地震発生。パンフレットを届けていた札幌市のホテルや健康増進施設等から感謝の声が学園に届きました。探究活動における解決策の一つが、実際に社会に実証を示す結果となったのです。

低学年以下対象の防災・減災絵本「ちいさなゆめのものがたり」です。この絵本は、親や他者による子供たちへの読み聞かせを念頭に作られており、災害時を想定した場面展開の中で、学ばべき防災・減災のポイントや説明等も記載されています。親子で読み進めながら楽しく学べる手法は、仙台白百合女子大学の牛渡淳教授によるアドバイスや、東日本大震災時に小学校2年生であった班員の思いが活かされています。FMせんだいやFM放送RADIO3、2020年2月11日(火)TBC東北放送『ウォッチン!みやぎ』で、この絵本開発の経緯や防災・減災に関する活動が伝えられました。これらのメディアによる発信等から更に、宮城県立図書館からの読み聞かせや絵本の展示に関する依頼、読売新聞からの取材等が現在入っています。



その後、SGH三回生で『震災による被災者の支援』をテーマに活動を行っていた29LS02班が宮城大学看護学群の佐々木久美子教授のアドバイスを得ながら開発したのが『災害時 高校生ができること』と題した高校生用の防災・減災パンフレットです。仙台防災未来フォーラム等での活動報告やブース展示の際は、先輩たちと共に減災・防災への取り組みをアピール。ぼうさい国体では吉野復興大臣や郡仙台市長らに直接パンフレットを手渡しました。更に、SGH四回生で『地震発生後の対応～後世に伝える～』をテーマに活動した班が作成したのが『小学校

「FM 放送各局」「TBC 東北放送」にて紹介!! 各メディアの話題となりました!!



▲小学校低学年以下対象の防災・減災絵本「ちいさなゆめのものがたり」

卒業生の近況・在校生の皆さんへ



上智大学 総合人間科学部 入学
青柳 江里子

こんにちは、LEコース14期生の青柳江里子です。仙台白百合学園では小学校からの約12年間で多くのことを学ばせて頂き、高校での一年間のオーストラリア留学を経て、今は大学で心理学を学んでいます。しかし、新型コロナウイルスの影響でキャンパスに立ち入ることができないため、4月頭の入学式も中止になってしまいました。今は、全ての授業をミーティングアプリなどを使用してオンラインで受講しています。想像もしなかった形での大学生活スタートとなり、不便なことも多々ありますが、その中でも学べる環境があることに感謝しています。未知のウイルスとの闘いの終結と、実際にキャンパスで勉強やサークル活動ができる日が来ることを願ってやみません。最後に、高校生は進路などの大きな選択を迫られる時期です。私の経験から、日常の中にある自分の興味が持てることを見つけ、大切にすることが自然と進路に繋がっていくと感じました。今は具体的な夢が見えない人も、何をしたいのかじっくり自分と向き合って考え、みなさんの人生を豊かなものにしてください。一人一人が大変な時期ではあると思いますが、陰ながら応援しています！



宮城大学 事業構想学群 入学
及川 那知

皆さん、こんにちは。私は現在、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業にはなってしまいましたが、大学で基盤科目を学んでいます。私の通う宮城大学の事業構想学群では、基盤教育に力を入れており、1年生の間は専門科目がほとんどありません。その代わりに、地域フィールドワークなどの独自性のある様々な科目があります。基盤科目では、知識だけではなく、社会の中で生きていく上で必要となるような能力を身につけていきます。そういった能力はただ単に勉強して身につくものではないので大変ですが、たくさんの方の力を吸収しようと日々頑張っています。白百合での高校生活では、友人や先生方など、たくさんの方々に支えられて様々な活動に取り組み、自分の力だけでは出来ないような経験をすることが出来ました。人に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを抱くことが出来る高校生活を過ごせたことは本当に幸せなことだと思います。白百合で学んだことを糧にして、今後も学び続けたいと思います。高校の3年間はあっという間に過ぎ去るので、皆さん楽しみつつ充実した高校生活をお送りください。

令和元年度 大学合格状況

種別	学校名等	合格数(名)
国公立大学 10名 (2)	山形大学	2
	東北大学	1
	宮城教育大学	1
	宮城大学	4
	横浜国立大学	1
	沖縄県立芸術大学	1
私立大学 140名 (13)	仙台白百合女子大学	20
	白百合女子大学	6
	東北学院大学	20
	宮城学院女子大学	11
	尚絅学院大学	1
	東北福祉大学	6
	東北医科薬科大学	6
	東北文化学園大学	1
	東北芸術工科大学	2
	弘前学院大学	1
	秋田看護福祉大学	1
	郡山女子大学	1
	城西国際大学	1
新潟薬科大学	1	
桜美林大学	2	

種別	学校名等	合格数(名)
私立大学 140名 (13)	関東学院大学	3
	神奈川歯科大学	1
	北里大学	1
	青山学院大学	4
	跡見学園女子大学	1
	慶應義塾大学	2
	駒澤大学	4
	東京音楽大学	1
	東京工科大学	1
	東京電機大学	1
	東京農業大学	2
	東洋大学	2
	昭和女子大学	2
専修 各種学校 7名	実践女子大学	1
	上智大学	6
	女子栄養大学	1
	聖心女子大学	7
	洗足学園音楽大学	1
	帝京大学	1
	獨協大学	6
日本女子大学	1	

種別	学校名等	合格数(名)
私立大学 140名 (13)	法政大学	1
	明海大学	1
	目白大学	1
	立教大学	4
	早稲田大学	1
	京都外国語大学	1
	立命館大学	1
	南山大学	1
	国際ファッション専門職大学	1
	仙台青葉学院短期大学	3
	聖和学園短期大学	1
	國學院大学栃木短期大学	1
	山野美容芸術短期大学	1
専修 各種学校 7名	英会館仙台看護専門学校	2
	横浜労災看護専門学校	1
	聖マリアンナ医科大学看護専門学校	1
	仙台ビューティーアート専門学校	1
	仙台ビューティーアート専門学校	1
	東北愛大専門学校	1
	高津理美容専門学校	1
就職 1名	自衛隊 一般書候補生	1
海外留学	台湾・オーストラリア	4

種別	学校名等	合格数(名)
エンカレッジコース(通信制課程)	山口県立大学	1
	仙台白百合女子大学	7
	白百合女子大学	2
	宮城学院女子大学	2
	東北学院大学	1
	東北生活文化大学	1
	明星大学	1
	聖徳大学	1
	沖繩大学	1
	国際基督教大学	1
	弘前医療福祉大学	1
	武蔵野美術大学	1
	多摩美術大学	1
専修 各種学校 7名	花園大学	1
	京都芸術大学通信教育部	1
	日本大学通信教育部	1
	聖和学園短期大学	3
	仙台ビューティーアート専門学校	1
	専門学校日本デザイナー芸術学院	1
	仙台医健・スポーツ&こども専門学校	1
仙台スイーツ&カフェ専門学校	1	
レコール・パンタン	1	
仙台市医師会看護専門学校	1	
(株)ドトールコーヒー	1	

新任紹介



小学校
助教諭 英語
ジャーナル・マボウサー
ヌーベ



小学校
教諭 英語
寺崎 江美



中学・高等学校
教諭 保健体育
齋藤 祥経



中学・高等学校
教諭 社会
村上 明里

退任・退職された方々

小学校

校長 渡辺 瑞穂
(嘱託として勤務)
教諭 木村 悦子
(嘱託として勤務)
横山 麻衣子

中学・高等学校

教頭 小形 園子
(嘱託として勤務)
教諭 山野 康史
(エンカレッジコースへ転籍)

中学・高等学校

教諭 金谷 裕治
(講師として勤務)
平野 亮平
高橋 かおる
吉田 綾太
松川 春菜
鈴木 拓巳
助教諭 ティモシー・ピクスレー



LEコース カナダ1年間留学報告

皆さんこんにちは。LEコース2年の進藤 裕美です。新型コロナウイルスの影響で自粛期間が続く中、私はホストマザーとヘッドバンドを制作しました。このバンドは、マスクによる耳の痛みを和らげてくれます。私の留学しているカナダでは、マスクをつける習慣がありませんが、新型コロナウイルスの感染予防対策で医療従事者の方が毎日マスクを使用しています。そのために多くの方がマスクによるストレスに悩まされながら働いていると聞いたことが作成のきっかけでした。皆さんにとっても喜んで貰うことができました。医療従事者の皆さんに感謝の気持ちを伝える事ができた事、とても嬉しく思います。また、私を受け入れてくださっているホストファミリー、私の気持ちを後押ししてくれたホストマザーにとっても感謝しています。 高校2年 進藤 裕美



ホストマザーより
During the COVID-19 outbreak, the staff at the facility I work at are required to wear surgical masks. After wearing these masks for a long period of time, people's ears get very irritated and sensitive. We discovered a solution of making ear savers. They are made of ribbons with buttons sewn onto either end to hold up the elastics. Yumi volunteered her time and helped create over 60 ear savers and donated them to the staff at my office along with another care home. The ear savers provide relief to the staff and they are very appreciated. Thank you, Yumi. You are incredible!

仙台白百合学園 ルルドの聖母像(マリア像)の歴史

初代 1929年～	二代目 1978年～	三代目 1998年～
戦災を免れた ルルドのマリア像	仙台空襲後、 建築中の校舎とルルドの聖母像	1998年から 修道院中庭に移転
		学園敷地北側 マリアハウス付近

5月はカトリック教会では聖母マリア様の月です。今年は世界的な感染症の影響から休園・休校が続きましたが、毎年5月には園児、児童、生徒たちはルルドのマリア様へ賛美と感謝の祈りを捧げる時間を過ごしています。ルルドとは南フランスの町の名前です。1858年にピレネー山脈の山麓にあるルルドという小さな町の洞窟で、ベルナデッタ・スビールという一人の少女の前に聖母マリアが現れました。マリア様のお告げに従って洞窟を掘ると泉が湧き上がり、以来病者を癒やす奇跡の聖地として世界的に知られるようになりました。現在も病気の癒しを求めて世界中の巡礼者が訪れる地となっています。

仙台白百合学園の初代「ルルドの聖母像」は1929年(昭和4年)8月に当時の花京院校舎、正門西側にルルドの洞窟を模して造られました。1945年(昭和20年)7月10日の仙台大空襲において学校の校舎などすべての建物を焼失しましたがルルドの聖母像だけが焼け残りました。「唯一残っていたルルドの前に皆が自然に集まり、聖母像を見つめながら祈った。不安でいっぱいであったけれども皆が無事であったことを感謝した。」(仙台白百合学園歴史資料集第二編参照) 広い焼け跡の中にルルドの聖母像はなお立ち続け、失意の人々に希望と復興への力を与えたそうです。

しかし、1978年(昭和53年)6月12日に起きた宮城県沖地震ですべての生徒・教職員の身代わりになったかのように倒壊し、粉々となってしまいました。その後設置された二代目となる「ルルドの聖母像」は花京院時代の学園を見守り続け、紫山への移転に伴いシャルトル聖パウロ修道女会紫山修道院の中庭に移されています。現在の「ルルドの聖母像」は三代目となります。1998年(平成10年)4月から学園は泉区紫山に移り、学園敷地北側、幼・小・中・高全キャンパスを見渡す場所にルルドが造られました。2011年3月11日東日本大震災が発生して帰宅困難となった生徒たちはマリアハウスで一夜を明かしました。翌朝学園のルルドに祈りを捧げに行った時のことです。うっすら積もった雪の中でルルドのマリア像は純白に輝き、まるでこの場に出現されたかのような静かに立つその姿に皆が勇気づけられたといえます。メキシコのグアダルーベのマリア様は「青いマント」をまとうてご出現されました。マリア様が身にまといられる青は、「神が共におられ、その人と働いている」しるしです。そのようなマリア様の心に包まれて安心して元気に成長して欲しいという願いをこめて、タプリエは今の色になりました。ルルドのマリア様は、学園のすべての人を広い心で、今もいつも見守っておられます。